

## シンボル編集 機能紹介

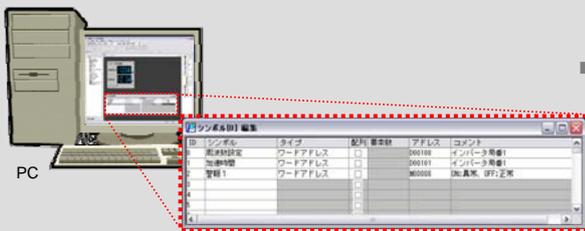
シンボル編集を使用するとこんなメリットがあります。

- ・シンボル変数エリアなら、モニタッチの内部アドレスを全く意識することなく作画できます。
- ・メモリマップを参照することなく作画できるので、工数を削減できます。
- ・シンボル編集で登録したアドレスを変更するだけで、複数画面に設定されたパーツを一括変更できます。

シンボル編集とは、PLCメモリや内部メモリに対して、自由な名前を登録し、その名前で各パーツのメモリを設定できる機能です。

## ■シンボル編集登録

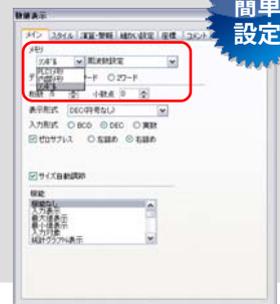
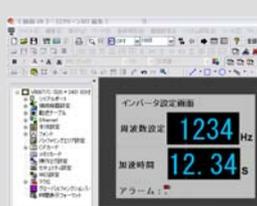
PLCメモリや内部メモリにシンボル（自由な名前）を割付します。



シンボル編集画面

## ■メモリ設定

パーツのメモリタイプ設定で“シンボル”を選択することで、メモリを設定します。



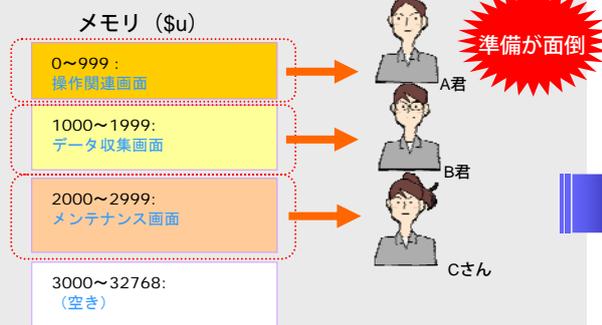
簡単設定

## シンボル編集で作画工数を大幅削減

## 【従来】

例えば、1つの画面データを用途・機能別に分担して作業する場合、作業前にメモリマップの作成が必要になるなど段取りに手間がかかります。

## ①担当者ごとにメモリ使用エリアの割振りが必要



準備が面倒

## ②メモリマップの作成が必要

しかも、作成されたメモリマップを参照しながら、画面のアドレス設定します。



メモリマップ

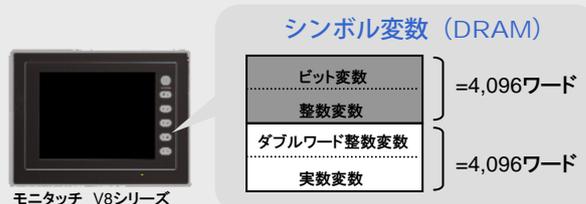
設定ミス

## 【シンボル編集】

事前準備の手間を掛けることなく、画面作成の分担が行なえます。

## ①シンボル変数エリアなら、アドレス意識不要

アドレスが存在しないシンボル変数エリアを使用すれば、自由な名前で作画が行なえ、しかも、担当者ごとのメモリ割り振りも不要です。



モニタッチ V8シリーズ

## ②シンボル登録で、メモリマップ不要

メモリマップを参照することなく、登録されたシンボル一覧から選択して作画できます。

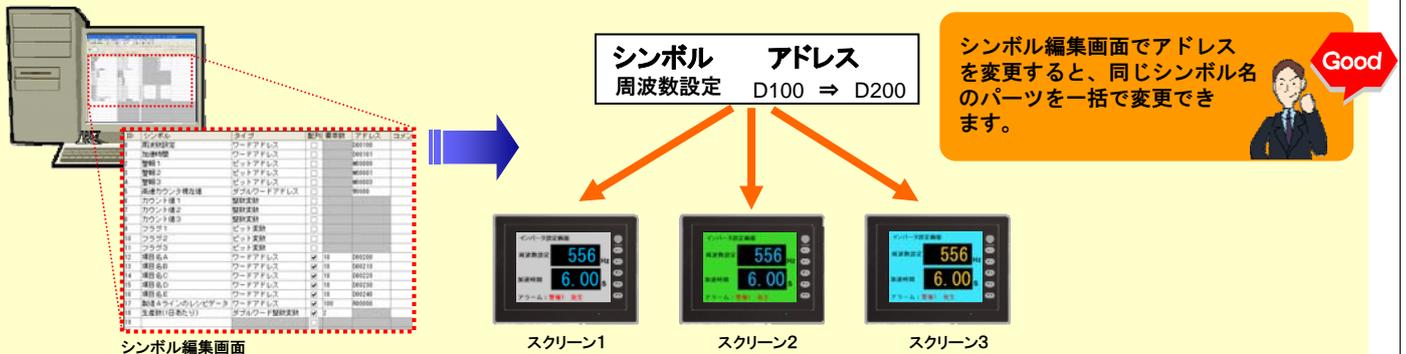


シンボル編集画面

効率UP

## ■アドレス変更作業もシンボル編集で工数削減

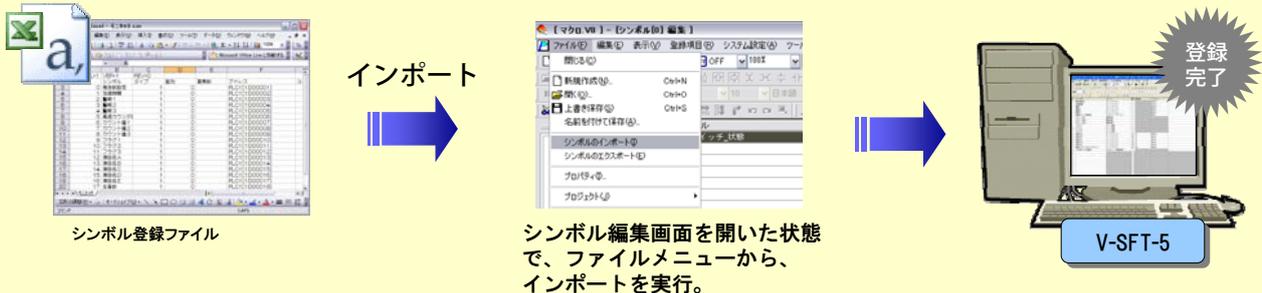
既存画面の接続機種変更や仕様変更に行なうアドレス変更作業も、シンボル編集画面でアドレス変更するだけで終了。スクリーンごとに変更する必要もないので、工数を大幅に削減できます。



## ■CSVファイルでの編集に対応

効率 UP

シンボル編集は、CSVファイルのインポート / エクスポートに対応しているため、使い慣れたアプリケーションを使用して、シンボル編集の登録作業が行なえます。



## 作画ソフトV-SFT-5の無料バージョンアップについて



下記ホームページより、作画ソフト(アップデート版)のダウンロードが出来ます。(作画ソフトのダウンロードには、会員登録が必要です。)

ホームページアドレス

<http://www.hakko-elec.co.jp/jp/download/09vsft5/index.php>

V-SFT-5 最新バージョン ... **Ver.5.4.16.0**

モニタッチ

検索

詳しくは Web で

MONITOUCH EXPRESSに関する皆様のご意見、ご要望をお待ちしております。採用の方には記念品を差し上げます。

### 【連絡先】

富士電機システムズ(株) 営業本部

第一統括部) 営業第三部内) モニタッチエクスプレス DO POD事務局 TEL:03-5435-7009 FAX:03-5435-7528

E-Mail:honsha-plc@fujielectric.co.jp

### 発紘電機(株)

営業本部 モニタッチエクスプレス DO POD事務局 TEL:076-274-5105 FAX:076-276-6006

E-Mail:kikaku\_sales@hakko-elec.co.jp